

JA グループ茨城メロン流通部会が大田市場で春メロンPR を実施

5月16日(木)、JA グループ茨城メロン流通部会が、旬を迎える茨城県産春メロンのPRを行いました。流通部会より須加野会長、大久保副会長、全農いばらき園芸部より鈴木部長を始めとする関係者が来場しました。

代表して須加野会長より、「天候不順もありやや小玉傾向だが、寒暖差があったので糖度のある美味しいメロンができています。JAグループ茨城として、春メロンは220万箱(5kg箱)を出荷予定である。また、東京都中央卸売市場の青果物の取扱高は皆さまのおかげで本県が1位である。茨城県は後継者が比較的多いものの、継続して農業ができるよう、本県産の取扱にますますご協力をお願いしたい。」と挨拶をいただきました。

会場にはJA水戸のアンデス・レノン、JA茨城旭村のアンデス・クインシー、JA常総ひかりのプリンスと各産地自慢の5種のメロンが並び、試食も5分足らずで完食となるほど大盛況でした。

3月のオトメメロンから始まった茨城の春メロンは、これから出荷最盛期を迎え、さらに春メロンのアンカーとなるタカミの出荷も控えています。どうぞ、旬真っ盛りの茨城メロンをご賞味ください。



JA グループ茨城メロン流通部会・東京青果の皆さん



3産地のメロンが並びました



試食の様子



須加野会長 (JA 茨城旭村) による挨拶